

令和3年12月10日

魚沼市教育委員会 様

入広瀬小学校検討委員会
委員長 梅井雅行

魚沼市立入広瀬小学校の今後の在り方の方針について（答申）

令和3年10月18日付け魚教第590号で諮問のあった「入広瀬小学校の今後の在り方」について、当委員会で慎重に審議した結果、下記のとおり答申いたします。なお、魚沼市教育委員会におかれては、児童、保護者及び地域住民の不安を解消するよう付帯意見について引き続き十分な検討を要望します。

記

令和4年度末をもって入広瀬小学校は閉校し、令和5年4月から学区を須原小学校の学区と統合することを提言する。

付帯意見

- 1 児童が通学に不便を感じる事が無いよう、利便性の高いスクールバス運行をされたい。
- 2 入広瀬地域の保護者が対応しやすいように引き続き学童保育を設置されたい。
- 3 北部地域の学校として、入広瀬地域の自然・文化・歴史等についての関心を持ち続けられるような教育活動を編成されたい。
- 4 統合の準備においては、児童や保護者の不安解消に努めるとともに、須原小学校との交流を効果的に行い、新しい学校生活が円満にスタートできるようにされたい。
- 5 地域の新たな拠点の一つとなるよう現行の入広瀬小学校校舎の有効な再利用について検討をされたい。

